



# 日刊工業新聞

## Business & Technology

2013年(平成25年)

5 29

第21642号 水曜日

14版

発行所©日刊工業新聞社2013

本社 ☎ 03・5644・7000 東京都中央区日本橋小網町14-1 大阪支社 ☎ 06・6946・3321 大阪市中央区北浜東2-16 名古屋支社 ☎ 052・931・6151 名古屋市東区泉2-21-28 西部支社 ☎ 092・271・5711 福岡市博多区古門戸町1-1

### 産業春秋

見知らぬ  
町から郵便  
物が届く。  
薄紙に丁寧  
に包まれた  
ビーズやガ

ラスの繊細なアクセサ  
リー。そこには手書き  
のメッセージが添えて  
あり、送り主である作  
り手に思いを巡らせな  
がら感想を伝える▼作  
り手とのこんな交流を  
生み出すサイト「i i  
c h i (いいち)」。雑  
貨をはじめとする販売  
商品は個人の手作り  
で、決して高価なもの  
ではない。だが「世界  
にひとつ」の作品が手  
元に届く楽しさがあ  
る。作家登録すれば売  
り手にもなれる▼IT  
が取り持つ作り手と使  
い手の新たな関係一。  
工作機械の世界ではこ  
んなことが起きてい  
る。位置決めセンサー  
製造のメトロール(東  
京都立川市)のフェイ  
スブックには世界中の  
ユーザーからコメント  
が飛び交う▼「いいね」  
「加工に何時間かかっ  
た?」。投稿者自身が  
愛用の機械を前にポー  
ズを決める画像もあ  
り、さながら自動車愛  
好家が愛車を自慢し合  
うコミュニケーションのよ  
う。同社にとってユー  
ザーの「顔」が見える  
ことは開発や販売戦略  
に直結する▼「個人や  
少人数でモノづくりを  
行う多くの作り手がい  
るが、出会いの場は限  
定的」。i i c h i を  
運営する飯沼健太郎さ  
んは話す。ビジネスに  
ITは不可欠だが、作  
り手、使い手が互いの  
息づかいを感じること  
は効率化とは異なるウ  
ェットな価値がある。